

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第二部 大阪証券取引所市場第二部
証券コード	4462
公告方法	電子公告により行う。 なお、電子公告は、当社のホームページに掲載しており、そのアドレスは次のとおりです。 http://www.unicon.co.jp/

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

石原薬品株式会社

株主の皆様のお声を聞かせてください

当社では、株主の皆様のお声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ですが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4462

いいかぶ

検索

 空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を贈呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細<http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問合せ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com



当社ホームページにおきましても、最新のトピックスをはじめとして、IR情報や会社情報、製品情報など様々な情報をご案内しております。

インターネットホームページアドレス
<http://www.unicon.co.jp/>



第75期 株主通信

— 平成24年4月1日～平成25年3月31日 —

石原薬品株式会社

石原薬品の技術や製品は、身近な電子機器・自動車用品など、さまざまなシーンで活躍しています。

自動車用品分野

快適なカーライフをサポートする自動車ケミカル品の製造・販売



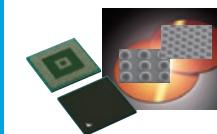
- ◎カーディーラー エアコン洗浄剤
- ◎ガソリンスタンド 洗車機用洗浄剤
- ◎板金・補修工場 補修用ケミカル
- ◎整備工場 整備用ケミカル

工業薬品分野

鉄鋼、化学、環境・公共事業分野等に薬剤の提案、付加価値の高い商品開発など、コーディネーター的役割を果たす提案開発型商社

電子関連分野

金属表面処理剤



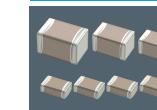
スマートフォンやタブレット端末などに使用される電子部品の表面処理に用いられるめっき液を製造・販売

機器等



化成処理液自動管理装置及び試薬を製造・販売

電子材料



セラミックコンデンサの電極材の仕入・販売



セラミックス、エンブラ樹脂等の加工部品の製造・販売

平成25年6月26日、 代表取締役会長に竹森莞爾 代表取締役社長に時澤元一 が就任いたしました。



代表取締役会長
竹森莞爾

代表取締役社長
時澤元一

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、第75期(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)の事業の概要をご報告させていただきます。当期におけるわが国経済は、長引くデフレに加え、新興国の景気減速懸念や日中関係の動向など先行きに不透明な環境が続きましたが、昨年末の政権交代による経済対策、金融政策への期待感から、円安・株高基調に転じるとともに、企業収益や消費動向にも改善が見られました。

このような状況下、売上高は16,288百万円(前年比4.9%増)、営業利益は760百万円(前年比11.9%増)、経常利益は821百万円(前年比11.6%増)となりましたが、投資有価証券売却損の計上により、当期純利益は370百万円(前年比0.7%減)となりました。

Top Interview

Q₁ | 当期の業績について総括をお願いいたします。

A₁ | 電子部品の需要増加などにより、売上高は過去最高を達成しました。

電子関連分野はスマートフォン、タブレットの高成長に伴い、対応する電子部品の需要増加により、売上を大きく伸ばしました。自動車用品分野は、エアコン洗浄剤及び補修用コンパウンドの新規導入ユーザーの増加やリピート受注が好調に推移しました。工業薬品分野は、中国、アジア諸国への電磁鋼板向け特殊薬剤の輸出不調による使用量減少などにより需要は低調に推移しました。これらの結果により、増収を達成いたしました。

Q₂ | 次期の取組みについてお聞かせください。

A₂ | 顧客ニーズへの迅速な対応や新規市場開拓などにより売上拡大をはかります。

電子関連分野は、台湾・韓国を中心にスマートフォン、タブレット端末向けの電子部品の需要拡大が見込まれることから、顧客ニーズへの迅速な対応や海外現地でのユーザーフォローを徹底し、競合他社との差別化をはかってまいります。自動車用品分野は、自動車ケミカル品の市場規模は縮小傾向にあるものの、エアコン洗浄剤及び補修用コンパウンドを中心に引き続き拡販をはかります。工業薬品分野は、安定供給、取引拡大、環境・石油化学を中心とした新規市場開発、輸入商材を含めた新規商材の探索などにより売上拡大を目指します。

Q₃ | 今後さらなる成長を目指すための、課題についてお聞かせください。

A₃ | 電子材料関連分野を重点開発分野と位置づけ、第5の事業を育成いたします。

当社は、4つの事業をバランスよく展開し、安定的な業績の向上を目指しておりますが、当面の課題として、市場のニーズにマッチした製品を開発し、確実に生産し、販売することにより、製品売上高の構成比を伸ばし、その結果として高収益な企業を目指します。その為に、金属ナノ粒子等新規電子材料の事業化を加速し、電子材料関連分野を第5の事業の柱として育成してまいります。

Q₄ | 株主還元の方針についてお教えてください。

A₄ | 安定的で継続的な配当を基本に、弾力的な還元策をはかります。

当社は、業績に裏付けられた安定的で継続的な配当を行うことを基本としつつ、業績に応じた増配を検討するなど弾力的な還元策をはかっていく方針です。また、配当に加えて自己株式取得も機動的に組み合わせて行うことにより実質的な株主還元の一層の強化をはかっていきたいと考えます。なお、健全な経営基盤を維持するため内部留保の充実をはかるとともに、内部留保資金の活用については、研究開発や新事業、新技術開発など将来の企業価値を高めるための投資に優先して充当してまいります。

基本的な取り組み方針

- (1) 新製品開発、新技術開発のため研究開発投資を積極的に行います。
- (2) 基礎となる3つの分野（電子関連分野・自動車用品分野・工業薬品分野）と4つの事業（電子関連分野における金属表面処理剤及び機器等、電子材料、自動車用化学製品等、工業薬品）をバランスよく展開し、各々の事業の収益力を高め、その総体として会社の業績の伸長をはかります。
- (3) 自社製品比率を高め、売上総利益の拡大をはかり収益力の高い会社を目指します。
- (4) 電子材料関連分野を重点開発分野と位置づけ、第5の事業を育成します。

目標とする経営指標

- (1) 自社製品の売上拡大により、製品売上高の構成比50%以上を目標とし、売上総利益の拡大をはかります。
- (2) 売上高経常利益率10%以上を目標とします。
- (3) ROE（自己資本当期純利益率）・EPS（1株当たり当期純利益）の向上をはかります。

		22/3	23/3	24/3	25/3	26/3 (予想)
自社製品比率	(%)	42.8	42.8	34.7	32.3	33.5
売上高経常利益率	(%)	4.9	6.7	4.7	5.0	5.9
ROE	(%)	4.9	3.5	2.8	2.7	4.7
EPS	(円/株)	87.10	65.67	50.09	49.72	88.47

展示会出展のご報告

SEMICON China 2013 3/19~21



上海の会場にブースを開設

KPCA show 2013 4/23~25



韓国で講演「電気銅めっきの紹介」

JPCA 2013 6/5~7



東京ビッグサイトにブースを開設

トピックス

新製品・新技術の世界への発信拠点 神戸工場が完成

平成25年4月30日、神戸ハイテクパークに新たな開発・生産拠点、神戸工場が完成しました。



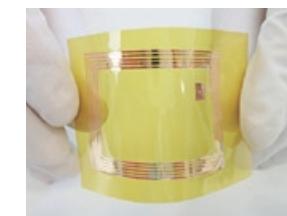
- 電車をご利用の場合
神戸市営地下鉄「西神南駅」下車後、神戸市バス46系統「ハイテクパーク方面行き」に乗り、「ハイテク3番」のバス停にて下車
- お車をご利用の場合
阪神高速7号北神戸線「前開ランプ」を出て、ハイテクパーク方面へ約3分



神戸工場（外観）

「オンリーワン」から 「ワールドワン」へ

銅ナノ粉の製造と次世代電子回路基板への適用が期待される導電性銅ナノインクの開発を進めます。世界に通用する「ワールドワン」の製品を目指します。



導電性銅ナノインクを用いて形成した回路

神戸工場の概要

- 進出場所：神戸市西区室谷1丁目6番2
- 敷地面積：10,337.65平方メートル
- 延床面積：3,777平方メートル
- 施設内容：工場及び研究施設
- 操業開始：平成25年5月

電子関連分野

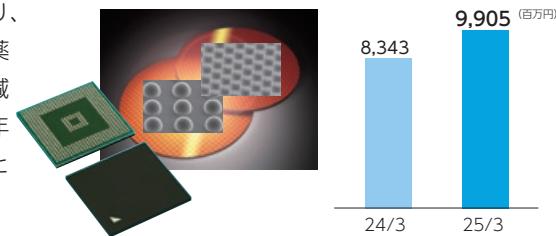
金属表面処理剤及び機器等

電子部品向けめっき液の需要は、国内ユーザーの販売不振などによる国内生産拠点縮小、閉鎖により、若干の伸びにとどまりました。また、海外の日系電子部品メーカーもローカルメーカーとの価格競争に苦戦しシェアを落とした影響により、需要は伸び悩みました。

一方、ICパッケージのフリップチップ化やスマートフォンに多くの先端ICデバイスが採用された影響でウエハーバンプめっき液の需要が韓国、台湾のユーザーを中心に大幅に伸びました。

化成処理液自動管理装置等は、海外ユーザーを中心に拡販に努めましたが、一部ユーザーで設備投資の凍結及び

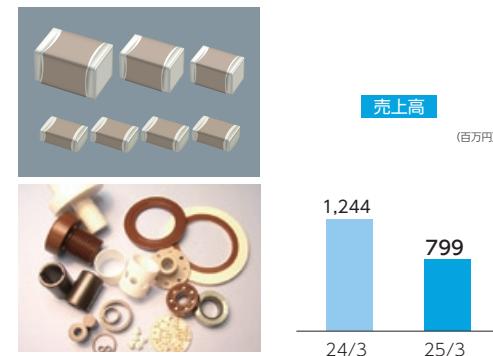
生産縮小により、管理装置、試薬ともに需要の減少があり、前年を下回る結果となりました。



電子関連分野

電子材料

ニッケル超微粉は、ユーザーのセラミックコンデンサの生産状況もあり納入が減少し低迷しました。機能材料加工品は、半導体関連、液晶関連ともに市況低迷が続く装置メーカー向けの部品需要は新規装置用、消耗品とも低迷しました。



自動車用品分野

車体構造の変化による部品・ケミカル品の交換間隔の長期化や交通事故補修の減少等、市場規模が縮小傾向にある中、エアコンフィルター交換時のエアコン洗浄の施工に取り組むカーディーラーの増加により、エアコン洗浄剤の販売が伸びました。また、補修用コンパウンドの新規導入ユーザーの増加やリピート受注が好調に推移しましたが、洗車剤の減少、円高による輸出減もあり、微増にとどまりました。

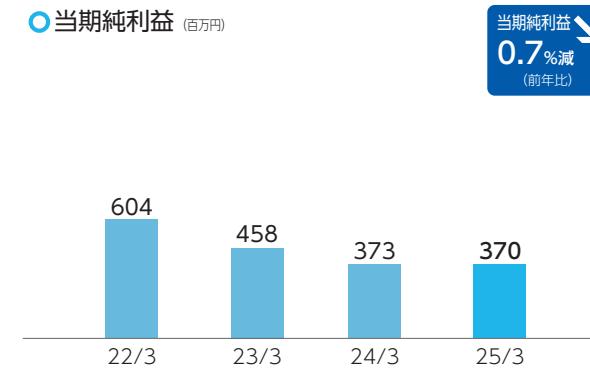
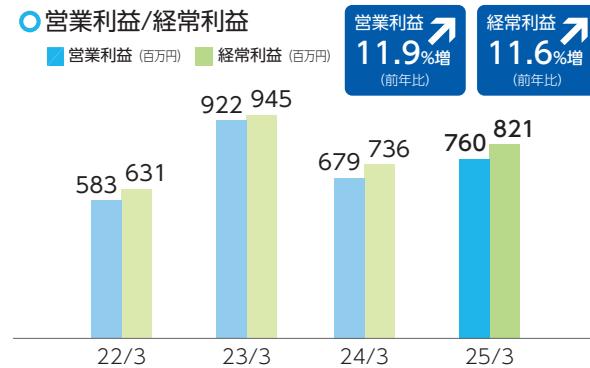
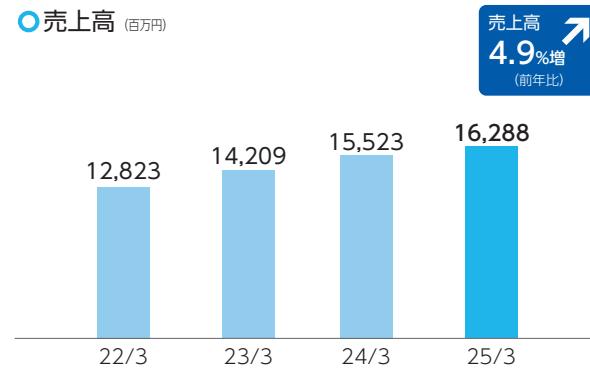


工業薬品分野

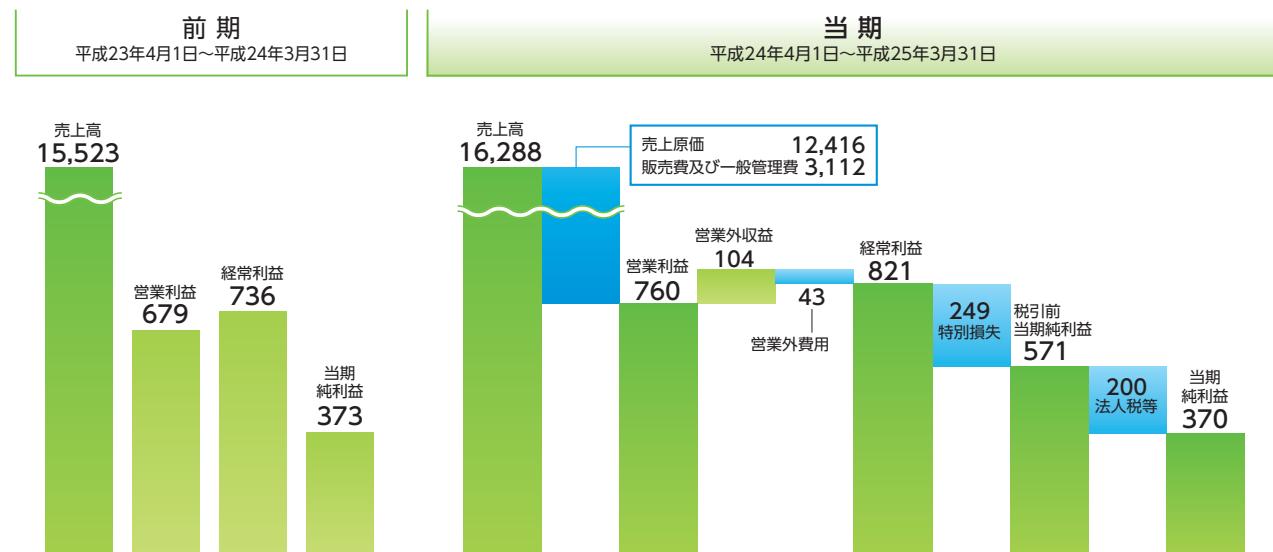
対応する鉄鋼業界は、中国の過剰生産や海外景気減速による鋼材需要の悪化、輸出価格の低迷、円高による輸出競争力の低下など取り巻く環境が厳しい中、中国、アジア諸国への電磁鋼板向け特殊薬剤の輸出不調による使用量減少、鉄鋼市場向け一般薬剤の使用量減などあり需要は低調に推移しました。



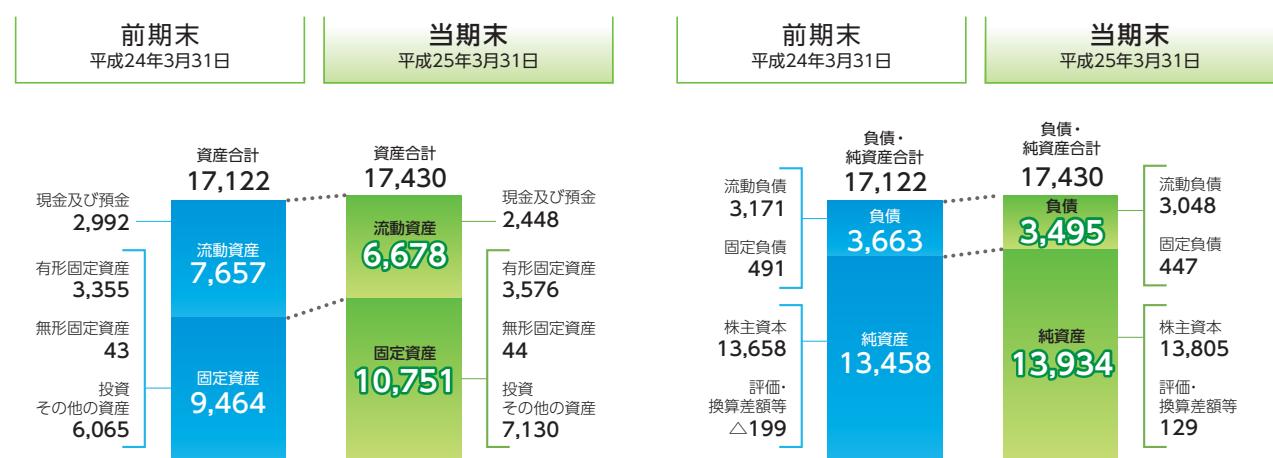
財務ハイライト



○ 損益計算書の概要 (単位:百万円)



○ 貸借対照表の概要 (単位:百万円)



○ 会社概要

商号 石原薬品株式会社
 ISHIHARA CHEMICAL CO., LTD.
 創業 明治33年4月15日
 設立 昭和14年3月15日
 資本金 14億4千7百28万円
 従業員数 192名

主要な事業内容

区分	主要品目
金属表面処理剤及び機器等	錫及びハンダめっき液、化成処理液自動管理装置等
電子材料	電子材料、セラミックス、エンジニアリングプラスチック等
自動車用化学製品等	つや出し剤、塗装補修コンパウンド、洗浄剤、消臭・除菌剤、溶接スパッター付着防止剤等
工業薬品	酸、アルカリ、触媒、無機化合物等

○ 事業所

本社 神戸市兵庫区西柳原町5番26号
 東京支店 東京都台東区台東2丁目26番11号
 滋賀工場 滋賀県高島市今津町北生見古野24番地の1

○ 役員

代表取締役社長 竹森 莞爾
 代表取締役専務取締役 時澤 元一
 常務取締役 松村 伊佐雄
 常務取締役 浅野 真司
 常務取締役 酒井 保幸
 取締役 大竹 祥司
 常勤監査役 山畠 一延
 監査役 菱田 正登
 監査役 岡本 茂登

株式の状況 (平成25年3月31日現在)

○ 株式の状況

発行可能株式総数 15,650,000株
 発行済株式の総数 7,460,440株
 株主数 1,841名
 単元株式数 100株
 大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
石原薬品取引先持株会	539(千株)	7.2(%)
日本生命保険相互会社	379	5.0
株式会社三井住友銀行	346	4.6
石原薬品従業員持株会	246	3.3
株式会社みずほコーポレート銀行	223	2.9
株式会社池田泉州銀行	219	2.9
第一生命保険株式会社	211	2.8
大阪中小企業投資育成株式会社	209	2.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	176	2.3
川村邦子	149	2.0

(注) 持株比率は自己株式(280株)を除いて計算しております。

Stock Information

株主ご優待情報

当社では、株主の皆様のご厚情に対するささやかな感謝のしるしといたしまして、株主優待制度を実施しております。

- 対象 決算期日(3月31日)時点の当社株主名簿に記載された500株以上保有の株主の皆様
- 内容 株主総会終了後(6月末~7月初旬)、次の基準の保有株式数に応じて、グルメギフトを贈呈させていただきます。



保有株式数	優待内容
500株以上1,000株未満	グルメギフト(3,000円相当)
1,000株以上	グルメギフト(10,000円相当)